※令和３年度以前入学生用

学校番号	324

令和５年度　公民科

教科	公民	科目	倫理	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「高校倫理(新訂版)」（実教出版）						
副教材等	「テオーリア　最新倫理資料集」（第一学習社）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

青年期の意義や課題、ギリシア思想、そして世界宗教であるキリスト教・仏教・イスラーム教、近代ヨーロッパの思想などを中心に、これからの自分の生き方を考えるうえで参考となる思想を勉強していく。現代の不安定な社会において、自分とは何か、自分はどこへ向かい、何を形成していくのか。近代の先にある社会を、先哲の思想をたどりながら考えていきたい。授業の中で様々な考えに触れ、自らの人生が豊かなものになるよう、この授業を生かしてほしい。

２　学習の到達目標

・古今東西の幅広い知的蓄積を通して、現代の諸課題を捉え、より深く思索するための手掛かりとなる概念や理論について理解する。
・諸資料から、人間としての在り方生き方に関わる情報を調べ、まとめる技能を身につける。
・自立した人間として他者と共によりよく生きる自己の生き方についてより深く思索する力や、現代の倫理的諸課題を解決するために倫理に関する概念や理論などを活用して、論理的に思考し、思索を深め、説明したり対話したりする力を身につける。
・人間としての在り方生き方に関わる事象や課題について主体的に追究したり、他者と共によりよく生きる自己を形成しようとしたりする態度を養うとともに、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚を深める。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	・人格形成の主体としての自己の確立に努める実践的意欲を持っている。 ・個人としての人間や、多様性に対する関心を持ち、これを尊重する精神を高めようとしている。 ・倫理的な諸課題について、探究する態度を身につけ、人間としての在り方や生き方への自覚を深めようとしている。	・他者と共に生きる自己の確立についての課題を見つけ、人間の存在や価値などについて多面的・多角的に探究しようとしている。 ・古今東西の幅広い知的蓄積をふまえて、広い視野に立ち、良識ある公民として、主体的かつ公正な判断ができるように取り組んでいる。	・古今東西の幅広い先哲の思想や、自己形成や人間としての在り方・生き方する資料や現代の倫理的課題に関する様々な資料を収集、主体的に選択し、自己形成や人間としての在り方・生き方を考察するために活用することができる。	・古今東西の幅広い先哲の思想や、青年期における自己形成や人間としての在り方・生き方などに関する基本的な知識を、自己の人格形成や現代の倫理的課題との関わりにおいて理解している。
評価方法	ワークシート レポート	定期考査 ワークシート レポート	定期考査 ワークシート レポート	定期考査 ワークシート レポート

※令和３年度以前入学生用

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	青年期の課題と自己形成	・青年期の意義 ・青年期の課題	○	○	○	○	a:人格の形成期としての青年期の意義を認め、主体としての自己の確立に努める意欲を持っている。 b:自己の確立に向け、人間の存在や価値などについて考えようとしている。 c:自己や自己の世代が課題として捉えていることを的確に表現することができる。 d:人間の特質と個人の人格形成における青年期の特徴と重要性を理解し、その知識を身につけている。	定期考査 ワークシート レポート
	人間としての自覚	・ギリシア思想 ・仏教 ・中国思想 ・キリスト教 ・イスラーム ・芸術と人生	○	○ ○ ○ ○ ○	○	○ ○ ○ ○ ○	a: 古来、人類が育んできた思想・宗教に関心を持ち、これを理解しようとする柔軟な態度と意欲を持っている。 b:それらの思想・宗教を多元的・多角的に比較し、考えようとしている。 c:それらの思想・宗教についてのさらなる情報や、その他並行や対立する思想・宗教についての情報を収集し、他者に伝えることができる。 d:それぞれの思想・宗教における基本的な考え方を理解し、その知識を身につけている。	定期考査 ワークシート レポート

※令和３年度以前入学生用

後期	現代に生きる倫理	・人間の尊厳 ・科学・技術と人間 ・民主社会と自由の実現 ・社会と個人 ・人間への新たな問い ・社会参加と幸福	 ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	a:近代を形成する思想・宗教に関心を持ち、これを理解しようとする柔軟な態度と意欲を持っている。 b:それらの思想・宗教を多元的・多角的に比較し、考えようとしている。 c:それらの思想・宗教についてのさらなる情報や、その他並行や対立する思想・宗教についての情報を収集し、他者に伝えることができる。 d:西洋近代の思想についての基本的考え方を理解し、その知識を身につけている。	定期考査 ワークシート レポート
	日本人としての自覚	・古代日本人の思想 ・日本の仏教思想 ・近世日本の思想 ・西洋思想の受容と展開	○	 ○ ○ ○	○	 ○ ○ ○	a:日本を形成するにいたった様々な思想・宗教に関心を持ち、これを理解しようとする柔軟な態度と意欲を持っている。 b:それらの思想・宗教を多元的・多角的に比較し、考えようとしている。 c:それらの思想・宗教についてのさらなる情報や、その他並行や対立する思想・宗教についての情報を収集し、他者に伝えることができる。 d:日本が受容し発展させたそれぞれの思想・宗教についての基本的な考え方を理解し、その知識を身につけている。	定期考査 ワークシート レポート

※令和３年度以前入学生用

	現代の諸課題と倫理	・生命の倫理 ・環境の倫理 ・家族の課題 ・地域社会の課題 ・高度情報化社会の課題 ・文化と宗教の課題 ・国際平和と福祉の課題。		○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○		a:現代の社会がかかえる倫理的社会について探求する態度を持っている。 b:倫理的諸課題に対し、広い視野に立ち、良識ある公民として主体的かつ公正な判断ができるよう取り組んでいる。 c:現代における倫理的諸課題の資料を収集・選択し、それに対する考察を合理的に表現することができる。 d:レポートにおける用語が定義に基づいて適切に使用できている。	レポート

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。